



岩手県立遠野高等学校 同窓会報

第一号
平成30年7月
岩手県立遠野高等学校
同窓会事務局

「創立百二十周年を見据えて」



岩手県立遠野高等学校
同窓会長 河野 好宣

梅雨空も徐々に明け始め、盛夏が感ぜられる今日この頃ですが、同窓生の皆様方に於かれましては益々ご健勝のことと拝察致します。

まずもって昨年本校同窓会の初めての試みと致しまして、全同窓生の皆様方に運営協力金をお願いをさせて頂きました際には、多くの皆様のご理解を頂き心より感謝申し上げます。お陰様で経費を差し引きプラスαとなりました。現役生徒そして同窓会の為に活用させて頂きます。また第九十六回全国高校サッカー選手権大会に際しまして、全国の同窓生の皆様を始めPTA、多くの市民の皆様から多大なるご芳志を賜りました。この紙面をお借りしまして重ねて御礼申し上げます。

さて本校は今年創立百十七周年を迎えました。これまで約二万三千名を超える同窓の志を送り出し、国内外にて大きな足跡を残されました諸先輩は枚挙に暇がありません。

この百十七年という県内三番目の長い歴史と伝統に、今大きな波が押し寄せておりますことは昨年の同窓会報で触れさせて頂いて参りましたが、同窓生諸兄の最大関心事のその後についてお伝え致します。私どもは一昨年度本校と緑峰高校、市内各団体を中心に「高校再編を考える市民会議」を立ち上げ、市当局の政策提案も頂きながら県教育委員会などに働きかけを

行つて参りました。昨年度は区長さん方や市内企業、首都圏や盛岡支部の皆さんのご理解とご協力を得て、中学生以上の皆さんの署名一万三百四筆を頂き、本田敏秋市長を先頭に県議会議長と県教育長に改めて両校存続を訴えました。

その結果、去る五月二十五日付岩手日報で、「三十二年度統合は見送り、後期計画案と併せて検討する」と報道されました。まずは一安心と言つた所ですが、今後とも生徒確保の為に学力レベルアップや特色ある授業、サッカーを始め部活動の更なる活性化を図って行く必要が迫られます。

さて本校創立百二十周年まであと三年と迫りました。去る六月十四日に同窓会三役会を開催し「創立百二十周年記念事業協賛会・設立準備委員会」立上げの原案の策定を行い、さらに七月五日速高会議室に於きまして同窓会三役、PTA三役、教育振興会、学校長、副校長、事務長他事務局職員出席のもとで趣旨、会則、組織役員、予算等の協議が行われ、正式に設立準備委員会が設置されました。概要は、世界に羽ばたく人材の育成支援と、更に地域に愛される学校を目指した事業を単年度ではなく前後数年間実施するというものです。

昨年本校同窓会としましては初めの試みとして、約一万四千人余りの会員の皆様に同窓会報を送付させて頂き、現況のご報告と一体感の醸成そして運営協力金をお願いをさせて頂きました。本年も同窓会報を送らせて頂き、お願いもさせて頂く所でございます。困みに本年度の総会は八月十一日(土)に開催されます。宜しくお願い致します。

結びに、会員各位の益々のご清栄とご健勝ご多幸をお祈り致します。

同窓会運営 協力金の御礼

昨年度、初めての試みとして、同窓生の皆様に同窓会や生徒の活動状況を知っていただくため、同窓会報を配付いたしました。その際、同窓生の皆様に同窓会運営協力金をお願いいたしましたところ、皆様から多くの協力金を頂戴いたしました。誠にありがとうございます。

現在、同窓生の皆様から頂いた協力金は集計中でございますが、発送経費及び同窓会活動の充実や在校生の学業や部活動の充実に活用していきたいと思っております。

今後も同窓生の皆様に、継続して同窓会や在校生の活動について、同窓会報を通してお伝えしていきたいと思っております。協力金は任意でございますが、引き続きご協力いただけますよう、お願いいたします。

なお、住所変更等のある方、同窓会報が届いていない方、お知り合いの同窓生の動向をご存じの方がいらつしやいましたら、事務局までご連絡ください。

創立117年!!より魅力あふれる

遠野高校に!!



岩手県立遠野高等学校

校長 阿部 伸

四月より、岩淵信義先生の後を受けて、本校校長として着任いたしました阿部伸(あべしん)と申します。何卒よろしくお願い申し上げます。遠野緑峰高校から、同じ市内での異動となりました。同窓会員の皆さま方には、日頃より母校の教育振興に対しまして、多大なるご支援・ご協力を賜っておりますことに、改めて深く感謝申し上げます。

さて、平成二十七年十二月に公表された高校再編計画では、本校は平成三十二年度に遠野緑峰高校との統合予定が発表されましたが、「高校再編を考える市民会議」(藤井洋二会長(遠野緑峰高校同窓会長)、河野好宣副会長(本校同窓会長)、及川増徳副会長(本校同窓会副会長))を組織して、関係諸団体と遠野市教委が一体となり、遠野地域における高校二校体制の維持を確認し、様々な取組を行っていただきました。特にも、署名活動では、一万を超える署名を集めていただきました。本田市市長は、県内各首長に働きかけ、遠野地域だけの問題ではなく、県内人口減少地域の共通する課題として、各首長と課題を共有し、岩手型の新しい高校教育の形を模索するべく大きな動きとなりました。この動きに呼応し、県議会全会派がまとまり、請願を採択していただいた中、遠野市による「高校魅力化」推進事業など、学校教育に多大な

援助をいただきました。それらの成果や関係各位のご尽力により、今春の入試では両校の入学者数が増えたほか、今までの様々な両校の活動の成果が認められる形となり、遠野市内二校の性急な合併は行わず、入学生の推移を見守りながら改めて計画を立て直すという発表に至りました。

しかしながら、遠野市内の人口減少、学齢児童・生徒数の減少は明らかであり、引き続き生徒の確保について全力で努力していく所存です。そのためには、「魅力ある学校」となることを一層心掛け、中学生から「選ばれる学校」となっていくかなければなりません。今年度は、昨年からのスタートした、「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」(探究型総合的な学習の時間)と、「国際交流事業の充実」の二つを学校教育の大きな柱として掲げました。遠野市の絶大なご支援を賜っております。九つの団体との協定を結ぶに至ったほか、高校魅力化事業として、通学費の補助やアメリカテネシー州チャタヌーガとの交流の実施規模の拡大や補助の増額等、絶大なご援助を賜っております。

県内三番目の歴史と伝統を誇る本校は、今年度百十七年目を迎えました。二〇二二年度には、創立一二〇周年を迎えます。今年度は、準備委員会を立ち上げ、協賛会をスタートさせます。本校を「躍進」に導く、様々な事業を計画していただく予定ですので、同窓生の皆様には、何とぞ、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、私たち教職員一同は、「遠野郷の人材は遠野で育てる」と「磨けば光る遠高生」をモットーに、生徒の多様な能力の開発と伸長を追求して参ります。同窓生の皆さま方にも、母校の益々の発展のために、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、挨拶いたします。

「新たな挑戦に向けて」



遠野高校サッカー部監督

長谷川 仁

(高三十五回生)

第96回全国高校サッカー選手権大会出場に際しましては、多くの方々からのご支援とご声援を頂き、誠にありがとうございました。

また、首都圏同窓会をはじめとする多くの同窓生からの激励や励ましのお言葉を頂き、本当にありがとうございました。結果は初戦敗退と残念な結果に終わりましたが、大会前の強化遠征から本大会を通して、万全な状態で臨むことができましたのも、皆様方のご支援とご協力のお陰であるところをお借りして感謝申し上げます。

さて、平成三十年度も既に前半戦が終了し、四月八日に開幕したプリンスリーグ東北は第九節を終え、二勝一分け六敗の七位と苦戦が続いています。六月初旬に行われた県高総体では準決勝で専大北上高校に0対5と屈辱的な大敗を期し、チームの課題が浮き彫りとなりました。残すは選手権大会のみとなり、ここからがチームの真価が問われる時です。新チームは新人戦、高総体とタイトルを一つも獲れていない上、専大北上には二連敗を喫しています。そして選手権六連覇への精神的な重圧とプレッシャーが重くのし掛かる中、チームの課題を克服し、真の強さを積み上げて行くことができるのか、残された期間でチームに必要なものを追求し、選手と共に選手権六連覇に向けて挑戦していきたいと思えます。最後になりますが、応援してくださる皆様方からの期待に応えられる様、今後も日々精進して参りたいと思えます。今後とも遠野高校サッカー部に対しまして、ご支援とご声援をよろしくお願い申し上げます。

今年度の講座

	担当団体	講座名
A	JTB盛岡支店 遠野ふるさと公社	遠野を知り、世界に発信しよう
B	Next Commons	地域を豊かにする経済圏のデザイン
C	to know	おもしろ TONO ガイド
D	たかむろ水光園	商品開発
E	遠野未来創りカレッジ	Virtual Hollywood by 遠高生
F	遠野テレビ	遠高 Watching 番組制作
G	富士大学スポーツ振興 アカデミー	遠野市スポーツ資源を活用した人・まち・仕事創生事業 「ブラインドサッカー」をテーマに
H	遠野市 (総務企画部 広報担当)	市内の魅力発信
I	遠野市 (健康福祉部 医療連携)	ふるさと遠野から医療・福祉専門職を目指す
J	遠野市 (こども政策課)	子育て支援の推進
K	遠野高校	ホップの可能性を発信しよう
L	遠野高校	外国人から見た遠野

総合学習 「新しい『遠野物語』を 創るプロジェクト」

・「日本の永遠のふるさと」を標榜する遠野市で、「遠野郷の子どもは遠野で育てる」という本校のモットーのもと、地域を再認識しグローバルな視点に立って地域の課題を解決し、持続可能な地域の創生に資する人材の育成を図る。
・これからの時代にふさわしいキャリア教育に



開講式



昨年度の課題研究発表



協定調印式



講座の活動

資する。

この二つを目的に昨年度から実施している「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」が、今年度も始まりました。五月一日の開講式では、昨年度に取り組んだ課題研究の発表と、岩手大学特任教授小野寺純治先生を講師に、基調講演「遠野の未来を一緒に考えよう」が実施されました。六月五日には、昨年度からこのプロジェクトにご協力いただいている遠野市や遠野未来創りカレッジ、JTB、ネクストコモンズ、今年度からご協力いただいている富士大学、遠野テレビなどから、十二の講座が発表されました。また六月二十七日には、これらの団体との協定調印式が行われました。生徒はそれぞれの興味関心や進路志望などをもとに講座を選び、六月二十六日から各講座に分かれて、探究活動を行っています。

授業とは違う環境の中で、講師の方や学年を越えた生徒同士が協力して探究活動や体験活動

を行うこと、自らの力で地域の課題やその解決方法を考えることは、生徒にとっても有意義なものであると思われまます。今後この活動は、二月まで月二回、総合学習の時間を使って学校内外で行われます。代表発表会は、来年二月下旬に開催される予定です。

平成29年度の成果発表の

主なテーマ(抜粋)

- ・ ホップと街と私
- ・ 農業革命
- ・ 訪問リハにおける課題と現状
- ・ 時間とお金
- ・ 遠野の未来地図づくり
- ・ 地域資源を活かした雇用創出
- ・ 観光から交流、そして定住
- ・ 発酵と世界と私

部活動の記録

〈運動部成績〉

◇第70回岩手県高等学校総合体育大会◇

- 陸上 男子4×400m 準決勝進出
- バスケットボール 男子 1回戦 遠野 41-60 黒沢尻工
- バレーボール 男子 1回戦 遠野 1-2 久慈
- 女子 1回戦 遠野 2-0 平館
- 2回戦 遠野 0-2 大船渡
- 1回戦 遠野 3-0 宮古水産
- 2回戦 遠野 0-2 久慈工
- 1回戦 遠野 2-1 不来方
- 2回戦 遠野 0-3 水沢
- ソフトテニス 男子団体 1回戦 遠野 5-0 盛岡三
- 3回戦 遠野 3-1 盛岡市立
- 準決勝 遠野 3-1 盛岡誠桜
- 準決勝 遠野 0-5 専大北上
- 第三代表 遠野 3-0 花巻東
- 決定戦
- (第3位 東北選手権出場)
- バドミントン 女子団体 1回戦 遠野 0-3 大東
- 1回戦 遠野 14-0 紫波総合(5回C)
- 2回戦 遠野 5-32 一関一 (5回C)
- 剣道 男子団体予選リーグ 遠野 3-2 千厩
- 遠野 4-1 高田
- 決勝トーナメント1回戦
- 遠野 4-1 北上翔南
- 準々決勝 遠野 0-5 花北
- (ベスト8)
- 女子団体予選リーグ 遠野 5-0 盛岡中央
- 遠野 1-4 福岡
- (予選リーグ敗退)
- 男子団体 予選40射10中 (不通過)
- 予選40射18中 (競射により通過)
- 女子団体 予選40射18中 (競射により通過)
- 準々決勝 予選18中 累計24中
- (ベスト16)

◇東北高等学校サッカー選手権大会◇

1回戦 遠野 1-4 尚志 (福島)

◇第65回春季東北地区高等学校野球

岩手県大会花巻地区予選◇

- 1回戦 遠野 2-9 花北青雲
- 4代表決定戦 遠野 6-0 紫波総合
- 遠野 0-1 花農
- 5代表決定戦 遠野 2-3 花北青雲

◇高円宮杯JFA U-18

サッカープリンスリーグ2018東北◇

第7位(2勝6敗1引分 得点10 勝点7)
6月25日現在

〈文化部成績〉

- 音楽部 文化部ミニ発表会参加
- 邦楽部 さくら祭り参加
- 文化部ミニ発表会参加
- 平成30年度セミナーサポーター事業
- 第31回日本音楽演奏発表会 金賞
- 文化部ミニ発表会参加
- 茶道部

高総体剣道競技男子団体ベスト8



感謝と分岐点

三年四組 剣道部主将 菊地 是和

私達は、高総体剣道競技男子団体の部でベスト8進出を果たしました。日頃稽古をつけてくださった先生方、OBの皆さん、保護者の方々など私達の活動を応援してくださった皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

男子団体でベスト8に入ったのは久しぶりだと皆さんに褒めていただきましたが、昔の遠高剣道部は優勝を何度も果たした栄光の時代があったそうです。今の剣道部は、その強さがだんだん失われてきています。強い遠高剣道部という伝統が歴史になってしまふのは、残念なことでした。しかし、今回やっとなるのが当たり前だった時代から少しだけ抜け出せたと思います。これは、遠高剣道部の時代の分岐点とな

第60回岩手県弓道選手権大会優勝



初優勝

三年四組 弓道部 佐々木 詩音

私は、四月十四日に岩手県営武道館で行われた、岩手県弓道選手権大会で優勝することが出来ました。その日は、すごく調子が良く、予選で皆中し、決勝の競射でも中てることが出来ました。よく考えてみると、大きな大会だと意識していなかったため、平常心で試合に挑めたことが勝因だったと思います。

当日はとても寒く、手がかじかんで感覚がわからないまま予選に臨みました。その結果、皆中したものの、矢所は安定していませんでした。その後すぐに、決勝の招集がかりましたが、まだ不安な気持ちでいっぱいでした。その時先生が私に、

「調子に乗らないで謙虚に引いてね。」とアドバイスを下さいました。その言葉のおかげで、無欲になれて、正しく引くことだけに集中できました。

先生だけでなく、家族や友達などの支えのおかげで優勝することが出来ました。ありがとうございました。



壮行式



高総体開会式

◇平成三十年度

同窓会総会のご案内◇

日時 八月十一日(土)

総会 午後三時から

(遠野市役所本庁舎三階大会議室)

懇親会 午後四時から(サンパークやなぎ)

会費 三〇〇〇円

※年度幹事は平成八年卒業生(高四十七回生)です。お誘い合わせのうえ、ご参加ください。



2018 8.11(土)

平成30年度岩手県立遠野高等学校
同窓会総会

平成30年8月11日(土)

総会 時間 午後3時から
会場 遠野市役所本庁舎 3階大会議室

懇親会 時間 午後4時から
会場 サンパークやなぎ

同窓会費: 3,000円
本年度事業: 創立120周年支援事業
年度幹事: 平成8年卒業生(高校47回生)

新任同窓生職員挨拶



佐々木 知華

(高五十一回生)

昨年の六月、遠野高校で健康診断を受けた際に、ここと勤務することができたら...

まさか今年本当に赴任することになるとは夢にも思っていませんでした。しかも初任校を母校で過ごせるなんてなんと幸せなことか、その有り難さを日々実感する毎日です。同窓会の事務局員として会議等に参加するようになり、遠野高校がいかに多くの支えの中にあるのを感じ、私にとって改めて母校を知る良い機会となりました。およそ二十年たつて戻ってきた母校は、比べものにならないくらい活気にあふれているように感じます。それはグローバルという言葉が示すように今の遠野市が国内外で注目されているからなのでしょう。様々な活動を通して、生徒達が何かを成し遂げ、達成感を得ていく姿を見ていきたいですし、今一つ自信の持てない生徒の背中を推してあげられるよう、私自身、明るく元気に、をモットーに、よく食べ、よく笑い、よく働いていきたいと思えます。

◆平成三十年経過報告◆

- 2月28日(水) 同窓会入会式
- 3月1日(木) 卒業式
- 4月7日(土) 入学式
- 5月16日(水) 同窓会三役会(本校同窓会室)
- 5月19日(土) 開校記念日(クリアフォルダ配付)
- 5月30日(水) 第一回同窓会総会幹事会(いちい)
- 6月8日(金) 第二回同窓会総会幹事会(民話やしき)
- 6月14日(木) 同窓会三役会(本校同窓会室)
- 7月5日(木) 第三回同窓会総会幹事会

◆今後の予定◆

- 8月11日(土) 同窓会総会
(遠野市役所・サンパークやなぎ)
- 8月 同窓会総会幹事会母校支援事業
目録贈呈式
- 10月 盛岡支部総会
- 11月 首都圏支部総会
- 12月 総会幹事会解散総会
- 2月 同窓会入会式
- 2月28日(木) 卒業式
- 3月1日(金)

編集後記

昨年度より、同窓会や生徒の活動状況を同窓生の皆様にお伝えしたいと思い、同窓会報の配付を始めました。この会報が、その一助になりましたら幸いです。会報の中でもふれておりますが、一月の全国高校サッカー選手権大会出場の際には、同窓生の皆様に多くのご支援、ご声援をお寄せいただきありがとうございます。一九〇一年創立の本校は、創立百二十周年を三年後に控え、今年度より準備を進めております。今後同窓生の皆様には、物心両面でご協力を賜ることもあるかと思えますが、ご協力をお願いいたします。

今年の夏は酷暑が予想されています。どうぞ健康にご留意してお過ごしください。末筆ではございますが、同窓生の皆様のご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。

発行者 岩手県立遠野高等学校同窓会事務局
住所 〒028-0525
岩手県遠野市六日町三一七
電話 0198-62-2823
FAX 0198-62-2805
http://www.2iwate-ed.jp/ton-h/index.html
印刷 遠野コローニ

次回同窓会報第二号(平成三十一年三月)はHPで同窓生の皆さまにお届けいたします。